

平成30年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

| | | | |
|------|--|--------|---------------|
| 施設名称 | 幸区第1グループ(南河原・幸・下平間) | 評価対象年度 | 平成30年度 |
| 事業者名 | ・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新九子東3丁目1100番地12 | 評価者 | 青少年支援室長 |
| 指定期間 | 平成28年4月1日～平成31年3月31日 | 所管課 | こども未来局 青少年支援室 |

2. 事業実績

| | H29 | | H30 | | H29 | | H30 | | |
|-----------------|---|-----------|-------------|-------------|---------|-----------|-------|-----------|--|
| | ①登録者数 | ②年間延べ利用者数 | ①登録者数 | ②年間延べ利用者数 | ①登録者数 | ②年間延べ利用者数 | ①登録者数 | ②年間延べ利用者数 | |
| 利用実績 | 1 南河原こども文化センター | | | | | | | | |
| | ①登録者数 | 208人 | 209人 | ②年間延べ利用者数 | 13,521人 | 13,110人 | ①登録者数 | 208人 | |
| | ②年間延べ利用者数 | 59,788人 | 53,519人 | ②年間延べ利用者数 | 1,116団体 | 1,013団体 | ①登録者数 | 357人 | |
| | 2 南河原小学校わくわくプラザ | | | | | | | | |
| | ①登録者数 | 367人 | 356人 | ②年間延べ利用者数 | 23,077人 | 22,446人 | ①登録者数 | 409人 | |
| | ②年間延べ利用者数 | 38,380人 | 40,393人 | ②年間延べ利用者数 | 383団体 | 374団体 | ①登録者数 | 176人 | |
| | 3 幸町小学校わくわくプラザ | | | | | | | | |
| | ①登録者数 | 409人 | 442人 | ②年間延べ利用者数 | 26,780人 | 28,432人 | ①登録者数 | 436人 | |
| | ②年間延べ利用者数 | 208人 | 209人 | ②年間延べ利用者数 | 23,460人 | 25,812人 | ①登録者数 | 472人 | |
| | 4 西御幸小学校わくわくプラザ | | | | | | | | |
| | ①登録者数 | 190人 | 192人 | ②年間延べ利用者数 | 11,357人 | 11,370人 | ①登録者数 | 29,418人 | |
| | ②年間延べ利用者数 | 264人 | 226人 | ②年間延べ利用者数 | 19,741人 | 19,467人 | ①登録者数 | 29,418人 | |
| 5 下平間こども文化センター | | | | | | | | | |
| ①登録者数 | 436人 | 472人 | ②年間延べ利用者数 | 23,734人 | 26,355人 | ①登録者数 | 264人 | | |
| ②年間延べ利用者数 | 29,418人 | 28,843人 | ②年間延べ利用者数 | 401団体 | 251団体 | ①登録者数 | 190人 | | |
| 6 下平間小学校わくわくプラザ | | | | | | | | | |
| ①登録者数 | 190人 | 192人 | ②年間延べ利用者数 | 11,357人 | 11,370人 | ①登録者数 | 190人 | | |
| ②年間延べ利用者数 | 264人 | 226人 | ②年間延べ利用者数 | 19,741人 | 19,467人 | ①登録者数 | 190人 | | |
| 7 古市場小学校わくわくプラザ | | | | | | | | | |
| ①登録者数 | 190人 | 192人 | ②年間延べ利用者数 | 11,357人 | 11,370人 | ①登録者数 | 190人 | | |
| ②年間延べ利用者数 | 264人 | 226人 | ②年間延べ利用者数 | 19,741人 | 19,467人 | ①登録者数 | 190人 | | |
| 8 古川小学校わくわくプラザ | | | | | | | | | |
| ①登録者数 | 436人 | 472人 | ②年間延べ利用者数 | 23,734人 | 26,355人 | ①登録者数 | 436人 | | |
| ②年間延べ利用者数 | 29,418人 | 28,843人 | ②年間延べ利用者数 | 401団体 | 251団体 | ①登録者数 | 436人 | | |
| 収支実績 | 単位:円 | | | | | | | | |
| | 1 収入 | 指定管理料 | | 193,422,920 | | | | | |
| | 2 支出 | 人件費 | | 160,991,063 | | | | | |
| | | 管理費 | | 12,651,594 | | | | | |
| | 事務経費 | | 8,286,488 | | | | | | |
| | その他経費 | | 11,126,797 | | | | | | |
| | 合計 | | 193,055,942 | | | | | | |
| 3 差引 | | | 366,978 | | | | | | |
| サービス向上の取組 | 運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。 | | | | | | | | |

3. 評価

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|---------------------------------|---|----|------|-----|
| 事業の推進 | 事業推進及び事業成果 | 「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。 | 10 | 4 | 8 |
| | | 「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。 | | | |
| | | 「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。 | | | |
| | | 「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。 | | | |
| (評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・南河原こども文化センターでは、「キャンドルナイトコンサート」の実施のなかで、出演する中学生や高校生に企画から事業に参加できるように促したことで、多世代交流に繋がった。 ・幸こども文化センターでは卓球、バドミントン等集会所の中高生利用者に対して、会話を楽しみながら職員ができるだけ参加することにより関係性を深め、中高生の利用のリピート率があがり、安心できる居場所づくりを行った。 ・こうした取組の結果、中学生の利用者が640人が増加した。 ・その他の取組として、幸町小学校わくわくプラザでの「わくわくくうんどうかい」、御幸小学校わくわくプラザでの「多文化を知ろう!」、下平間小学校わくわくプラザ及び古川小学校わくわくプラザでの「夏休みわくわく交流会」などグループ全体として新規事業を複数実施している。特に、「多文化を知ろう!」事業では、外国につながるをもつ保護者や地域の人と協力して、多文化及び地域の交流や、当該事業の参加者がその後の幸市民館主催の事業への参加に繋がった。 | | | | | |
| サービス向上及び業務改善 | 利用者ニーズ | サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。 | 10 | 4 | 8 |
| | | 利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。 | | | |
| | | 苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。 | | | |
| | 特別な配慮を要する利用者への対応 | 特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 学校及び行政機関との連携 | 事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。 | 10 | 3 | 6 |
| | 施設・事業の広報 | 施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。 | 5 | 4 | 4 |
| | 運営協議会の実施 | 「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。 | 5 | 3 | 3 |
| 保護者懇談会の実施 | 「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。 | 5 | 4 | 4 | |
| (評価の理由) ・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通して、利用者ニーズ把握に努めたほか、苦情等への対応も適切に行われている。特に、意見箱とは別に「あのねポスト」を設置し、利用者が気軽に意見を伝えやすい環境づくりに努めている。南河原こども文化センターでは、映画鑑賞会実施にあたり、事前に来館者にシールを貼ってもらい、最も投票数の多い映画を鑑賞するなど、利用者ニーズを積極的に反映している。下平間こども文化センターでは、乳幼児保護者の要望で、他施設との連携の都合上常時閉鎖していたキッズトイレを開放した。 ・特別な配慮を要する児童への対応として、障害児対応研修等により、職員の資質向上を図るなど、適切な対応が図られている。 ・学校及び行政機関との連携については、幸区役所や川崎看護短期大学などと連携し、事業の実施や実習生の受け入れを行っている。 ・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、中学生・高校生たよりや乳幼児親子向けたよりを発行するなど、対象年齢を捉えた広報を行った。南河原こども文化センターでは、音楽室の広報を川崎区・中原区・高津区の中学校・高校にも配布し、中学生版たよりに音楽室の紹介を掲載したことで、音楽室の利用高校生数が8校増加し、高校生の利用者も約2倍増の400人に増加した。 ・運営協議会の実施について、運営協議会が設置され、事業計画どおりに開催されている。 ・保護者懇談会の実施について、懇談会が定期的に開催され、保護者の要望を把握している。下平間小学校わくわくプラザでは、保護者の意見を受けて手作りおやつや買い物体験をさせる「だがいやさん」を実施したり、懇談会前に設けた個別面談での情報を日々の見守りや声掛けに活かしている。 | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|----|---|---|
| 組織管理 体制 | 適正な人員配置 | 「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。 | 10 | 3 | 6 |
| | | 「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。 | | | |
| | | 「川崎市公契約条例」が遵守されているか。 | | | |
| | 職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。 | 10 | 4 | 8 | |
| 職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。 | | | | | |
| 個人情報等の取扱 | 法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。 | 5 | 3 | 3 | |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧できる等、共有化の仕組み作りができています。さらに、防災研修で習得した知識を活用し、グループ合同事業「ぼうさいわい2018」のなかで防災バッグや段ボールトイレを作成するなど、事業運営の改善に役立てています。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はありません。 | | | | | |
| 適正な業務 実施 | 施設・設備の保守管理 | 安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | | 必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。 | | | |
| | | 備品等の管理が適切になされているか。 | | | |
| | 利用者の安全確保 | 利用者の安全を確保するための体制が整っているか。 | 5 | 4 | 4 |
| | | 事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。 | | | |
| | | 事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。 | | | |
| | 防犯対策 及び 災害時の対応 | 施設の防犯対策に工夫がなされているか。 | 5 | 3 | 3 |
| 災害発生時に備えた対応が図られているか。 | | | | | |
| 災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。 | | | | | |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。 ・利用者の安全確保については、法人作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、各事例の館長会議での共有及び各館での事例検討会の開催によって議論を重ね、検証結果については職員会議等で職員間で共有している。また不審者対応研修、応急手当研修・アレルギー対応研修等の利用者安全に関する研修を開催するなど職員等の意識向上を図っている。特に南河原こども文化センターでは、財団が実施するAED研修の結果、近隣の公園で倒れていた意識不明の成人男性に対しAEDを使用し、救急隊員へ引き継ぐことができた。 ・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。 | | | | | |
| 収支計画・実績 | 適切な金銭管理・会計手続 | 法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | 効率的・効果的な支出 | 「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。 | 5 | 3 | 3 |
| | | 効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。 | | | |
| | | 支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。 | | | |
| <p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 | | | | | |

4. 総合評価

| | | | |
|-------|----|-------|---|
| 評価点合計 | 69 | 評価ランク | C |
|-------|----|-------|---|

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内20グループのこども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。

外国につながる子どもや保護者や連携した新規事業を行う等積極的に新たな取組を行うとともに、あのねポスターの設置やシール投票での行事内容の決定など利用者が気軽に意見を伝えやすいよう環境づくりと意見の積極的な反映に努めている。さらに、研修内容の共有を図ることで、研修内容を日々の運営に活かし、職員等の資質向上を図っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育て、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、学校及び行政機関、地域の団体等の連携については、新たな主体との連携に取り組んだり、地域課題を共有しながら効果のある取組を積極的に行うことが望ましい。